

医療用品 06 視力表及び色盲検査表  
一般医療機器 特殊視力検査装置 JMDNコード:70973000  
(両眼視機能検査装置 JMDNコード:37071000)

## \*\* コーワ AVC70

### 【形状・構造及び原理等】



- 構成  
本装置は、本体・付属品(電源コード)から構成されております。
- 体に接触する部分の組成
  - 見口カバー 合成樹脂
  - レンズ切替ノブ 合成樹脂
  - 検査切替ノブ 合成樹脂
- 電磁両立性  
本機器は、JIS T 6061-1-2:2002 に適合しています。
- 電氣的定格
  - 入力相数 交流单相
  - 周波数 50Hz 又は 60Hz
  - 入力電圧 100V
  - 消費電力 10VA
- 機器の分類
  - 電撃に対する保護の形式による分類 クラス I 機器
  - 電撃に対する保護の程度による装着部の分類 B形装着部
- 寸法及び質量  
245 mm(W)×325 mm(D)×370 mm(H) / 7 kg
- 作動原理  
被検者は、左右の接眼レンズを通して背面の光源により照明された内部の視標を見ます。検査切替ノブで4組の視標を交換することにより、右眼視力、左眼視力、両眼視力の測定および立体視、眼位の検査が可能です。接眼部でレンズおよびプリズムを組み合わせたレンズ部を切り替えて視標の像として5m、50cm、33cmに結像させることにより、遠近の視力の測定が可能となります。さらに5m 視標を+0.5D 負荷した条件に設定して遠視の検査も可能にしています。

### 【使用目的、効能又は効果】

光学的に遠方及び／又は近方の視標を提示し、視力検査を行うために使用する。また、視機能検査を行うために使用する。

### 【品目仕様等】

#### <視力検査>

- 検査距離:5m、50cm、33cm、遠視
- 視力検査視標:ランドルト氏環
- 視力値:0.1、0.2、0.3、0.4、0.5、0.6、0.7、0.8、0.9、1.0、1.2、1.5
- 視標切れ目方向:上下左右
- 視標面の輝度:260 cd/m<sup>2</sup>

#### <立体視>

- 種類:3種類

#### <眼位>

- 水平方向(目盛:数字):1目盛あたり4Δ(最大±12Δ)
- 垂直方向(目盛:アルファベット):1目盛あたり3Δ(最大±6Δ)

### 【操作方法又は使用方法等】

- 装置を適当な高さの机又は、光学台に設置する。
- 電源スイッチをONにする。
- レンズ切替ノブにて、検査距離(5m、50cm、33cm、遠視)を選択する。(眼位検査の場合は5mのみ)
- 検査切替ノブで、右眼、左眼、両眼(立体視)、眼位のいずれかを選択する。
- 視力検査の場合は、表示されたランドルト氏環の切れ目方向を被検者に答えさせ、その合否によって視力を検査する。
- 立体視の場合は、絵のそれぞれの奥行きを被検者に答えさせ、その返答によって立体視を検査する。
- 眼位の場合は、視標(矢印)が目盛のどこにあるかを被検者に答えさせ、その返答によって眼位を検査する。

詳細は「取扱説明書」をご参照ください。

### 【使用上の注意】

#### (一般的な注意事項)

- 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
- 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
  - 水のかからない場所に設置すること。
  - 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
  - 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
  - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
  - 電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は電源入力)に注意すること。
  - 電池電源の状態(放電状態、極性など)を確認すること。
  - アースを正しく接続すること。
- 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
  - スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メータ類などの点検を行ない、機器が正確に作動することを確認すること。
  - アースが完全に接続されていることを確認すること。
  - すべてのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認すること。
  - 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。
  - 被検者に直接接続する外部回路を再点検すること。
  - 電池電源を確認すること。
- 機器の使用中は次の事項に注意すること。
  - 診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
  - 機器全般及び被検者に異常のないことを絶えず監視すること。
  - 機器及び被検者に異常が発見された場合には、被検者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
  - あご載せ、ひたい当てを除く部分に被検者がふれることのないよう注意すること。
- 機器の使用後は次の事項に注意すること。
  - 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
  - コード類のとりはずしに際してはコードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。
  - 付属品、コードなどは清浄にしたのち、整理してまとめておくこと。
  - 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
- 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。
- 機器は改造しないこと。

取扱説明書を必ずご参照ください

8. 取扱説明書に書かれている注意事項を熟読し、遵守すること。
9. 使用環境
  - 1) 周囲温度 10～35 ℃
  - 2) 相対湿度 30～90 % (結露なきこと)
  - 3) 気圧 700～1060 hPa

(当該機器固有の基本的な注意事項)

検査を実施する際には、本装置が倒れたりしないように注意してください。  
〔被検者が負傷するおそれがあります。〕

(その他の注意事項)

本機器を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼してください。

### 【貯蔵・保管及び使用期間等】

1. 有効期間(耐用期間)は、正規の保守点検を行った場合に限り8年間です。〔自己認証(当社データ)による。〕
2. 貯蔵・保管環境
  - 1) 周囲温度 -15～+60 ℃
  - 2) 相対湿度 10～95 % (結露なきこと)
  - 3) 気圧 700～1060 hPa
3. 保管場所については次の事項に注意すること。
  - 1) 水のかからない場所に保管すること。
  - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
  - 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
  - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

### 【保守点検に係る事項】

(使用者による点検事項)

1. 電源コードに傷、破損がないことを目視で確認する。
2. 外装および見口に、汚れ、傷、破損、変形、錆がないことを目視で確認する。
3. チャート図が保管されていることを目視で確認する。
4. 銘板、ラベルに剥がれ、汚れがないことを目視で確認する。
5. 左右のレンズ切替ノブを両手で持ち、左手は固定で右手で軽く回転させる力を加え、切替ノブの取付けに緩みがないことを確認する。  
検査切替ノブについても同様の手順で確認する。
6. 電源を ON にして、レンズ切替ノブを回し、見口から視標を見て、ケラレや影等の異常がなくレンズが切り替わることを確認する。
7. 電源を ON にして、検査切替ノブを回し、見口から視標を見て、ケラレ、影、視標の浮き、視標の照明ムラ等の異常がなく視標が切り替わることを確認する。

(保守点検に係るその他の注意事項)

一年に一度、以下の点検をすることをお勧めします。

1. 各種設定の記録
2. 外装全般・設置
3. 光学系各部
4. 各部の動作・機能(関連部分の確認を含む)
5. 撮影モードの切替動作
6. 標準模型眼による画像観察
7. 標準模型眼による写真撮影
8. 撮影光量
9. 電気安全試験

(保守点検に係るその他の注意事項)

1. 医療機器の使用・保守の管理責任は使用者にあります。
2. 日常点検、定期保守点検は必ず行ってください。
3. しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。

4. なお、使用者自ら定期点検ができない場合は、当社または当社サービス部門の関連会社で受託することができます。

詳細は「取扱説明書」をご参照ください。

### 【包装】

包装単位:1台/1梱包

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

(製造販売業者)

- \* 興和株式会社  
東京都中央区日本橋本町3-4-14  
TEL (03) 3279-7334  
FAX (03) 3279-7541

(製造業者)

- 株式会社 サンテック 滋賀工場  
興和株式会社

取扱説明書を必ずご参照ください